

事業所番号	4290800012
事業所名	(医)長愛会 グループホーム しさんまち
自己評価作成日	令和6年11月7日
運営推進会議開催日	令和6年12月24日
外部評価作成日	令和7年1月14日
提出日・公表日	令和7年1月24日

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述 (具体的な実施状況など)	現状の課題や質の向上に向けて運営推進 会議で話しあった内容	外部評価	記述(新たな課題、改善点など)
I.理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業 所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を 共有して実践につなげている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	毎月、各ユニット目標を決め、理念が実践で きるようにしている。また、入居者様一人一 人の生活リズムやペースに合わせて支援す るよう心がけている。			
2	事業所と地域とのつき あい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮 らし続けられるよう、認知症の人の理解や支 援の方法などを共有し、事業所自体が地域 の一員として日常的に交流している	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	昨年度より継続してしめ縄飾り作りを行っ たり、久しぶりに記念行事の時に市内の方 に来て頂き、民謡を歌ってもらった。少しづ つではあるが地域との交流が再開出来てい る。週1回ヤクルトの訪問販売に来てもら い、希望者が購入されている。	インフルエンザやコロナ等の感染が流行し ているため制限はまだあるが、15周年記念 行事やクリスマス会等には地域の方を招い た。今年も御幣作りを行い、地区の方とも 少しは関わりを持てた。		今後も感染対策に注意しながら交流 を図っていきたい。
3	運営推進会議を活か した取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取り組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービ ス向上に活かしている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	2ヶ月に1回、運営推進会議を開催し施設 の取り組みや入居者様の生活状況等の報 告を行ったり、テーマを決めて話し合いを 行っている。会議の中で出た通所リハ利用 者との面会を開始している。	15周年行事後に家族会を開催し6家族 様が出席して頂けた。(事務長)通所リハの 利用者との交流が早速実現できよかった。 今後も続けてもらいたい。		通所リハとの交流も定期的に継続し ていく。施設との面会を希望される家 族様とは年1回面談を行っていく予 定。
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事 業所の実情やケアサービスの取り組みを積 極的に伝えながら、協力関係を築くように取 組んでいる	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	運営推進会議の時や電話等で介護保険 係・包括主任ケアマネに相談している。解 釈があっているか迷ったときは必ず確認し ている。情報共有は継続して行っている。	わからないことなどはその都度長寿介護課 に相談していて、情報共有は出来ている。		
5	身体拘束をしないケア の実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指 定基準における禁止の対象となる具体的 な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を 含めて身体拘束をしないケアに取り組んで いる	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	身体拘束適正化委員会を3か月に1度開 催し、身体拘束についての再確認や日頃 のケアが拘束にあたらないか検討してい る。ターミナルの入居者様で転落のリス クが高かったため、ご家族様に同意を得 て4本柵を使用した。		☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	これからも委員会で拘束について検 討していき、答えが出ない時などは運 営推進会議で有識者から意見をもら うようにし、拘束のないケアに取り組 んでいく。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅 や事業所内での虐待が見逃ごされることが ないよう注意を払い、防止に努めている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	虐待防止の研修を年2回開催し委員会も 年2回開催して虐待に当たる事例がないか 話し合いをしている。またお互いのケア や言葉使い等、確認し合い改善に努め ている。		☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	毎月のフロアー会議でケアの方法を 共有し虐待防止に努めていく。

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述 (具体的な実施状況など)	現状の課題や質の向上に向けて運営推進 会議で話しあった内容	外部評価	記述(新たな課題、改善点など)
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	研修会等に参加したり、分からない時は包括の社会福祉士に相談して助言を受けている。現在、成年後見制度を利用されている入居者様はいない。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時の契約の際に説明を行い、その場で疑問点等は話を受け説明し、理解・納得を得ている。入居後に契約等について質問を再度受けた事はない。今年度、個人情報の取り扱いについての書式を変更した。	入居されているかの問い合わせの対応や地区の方向けの広報誌に写真を掲載しても大丈夫か細かく確認した。		
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	玄関に意見箱を設置しているがこの1年間で意見はなかった。面会時や電話等で要望があればその都度個別に対応している。今年度も無記名でのアンケートを実施。	14家族から返信あり、色々なご意見を頂いた。対応策を話し合い、書面でご家族様に交付する予定。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今後は年1階程度、希望されるご家族様に対しては個人面談を行ってみたいと考えている。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月のフロアー会義・全体スタッフ会議、各委員会が出た意見は改善策を検討し対応している。また、年1回、4月にアンケート、5月に個人面談を行っている。			アンケートや面談で貴重な意見をもっている。働きやすい環境作りに努力していきたい。
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の家庭の事情や体調等を考慮している。働きやすい環境だと思いが、それをカバーしている職員もいる。	発熱等の風邪症状や体調不良者がでた時、全員がカバーして取り組んでくれている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	月1回は法人内で勉強会を実施。施設でも独自で開催。また職能団体の勉強会に参加したり、外部の研修案内が来た時は職員に周知している。希望する研修に参加できるよう勤務を調整している。日々の業務を見て力量を把握するように努めている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	これからも個々のスキルアップが図れるように施設内外での研修に参加しやすいようにしていきたい。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	管理者や介護支援専門員は定期的開催されている職能団体の勉強会に参加し意見交換等が行えているが、介護スタッフの外部の同業者との交流は出来ていない。法人内の交流は出来ている。			他のGH等の運営推進会議等に参加できる機会があれば参加して、良いものを取り入れてサービスの向上に努めていきたい。
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	これまで得意としてきたことや状態に合わせて、洗濯物干しやたみ、お花の手入れ、食器洗い、野菜を切る作業を行ってもらっている。			施設内でも自立した生活が継続できるように支援していきたい。

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述 (具体的な実施状況など)	現状の課題や質の向上に向けて運営推進 会議で話しあった内容	外部評価	記述(新たな課題、改善点など)
15	馴染みの人や場との 関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や 場所との関係が途切れないよう、支援に努め ている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	担当の職員が本人の希望を聞いて、お喜参りや自宅に外出し たりしている。生家に行ったり、兄弟の家に連れていっている。 知人からの電話や面会もある。最近の取り組みとして通所リハ を利用されている昔からの友人との面会や馴染みの床屋に連れ れていっている。	外出の要望があった時は、希望が叶えられ るように日程調整し支援している。自宅に帰 りたいと希望される時は家族とも調整して帰 宅している。		急遽の時は対応できない場合もある ため、後日調整して支援している。
Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一 日の過ごし方の希望や意向の把握に努めて いる。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人や家族に意向を確認したり、これまでの 生活歴等を見ながら意向を把握している。			
17	チームでつくる介護計 画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり 方について、本人、家族、必要な関係者と話 し合い、それぞれの意見やアイデアを反映 し、現状に即した介護計画を作成している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護計画は本人、家族に意向を確認し、計 画作成者が行ったアセスメントを用いて原案 を立案し、フロアー会義の時に協議する。そ の後は担当者を決め、毎月の計画の評価を 行い、介護計画の見直しを行っている。	毎月丁寧評価して様子も記入してある報 告書が来るので状況が分かりやすい。(家 族)	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
18	個別の記録と実践へ の反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工 夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共 有しながら実践や介護計画の見直しに活か している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日頃の様子はケース記録に記入し、介護計 画の評価を行っている。生活の中での問題 点や改善点が出た際は申し送りノートで情報 共有し、会議の時に検討し改善している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
19	一人ひとりを支えるた めの事業所の多機能 化	本人や家族の状況、その時々にも生れる ニーズに対応して、既存のサービスに捉われ ない、柔軟な支援やサービスの多機能化に 取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員間で話し合いながら状態に合わせた食 事形態の食事を提供したり、個々の状況に 応じてサービス調整を行っている。菊地病院 以外の受診についても家族が対応困難な場 合は代わりに付き添っている。	菊地病院以外の受診が定期で決まっている 場合は家族にお願いしている。無理な場合 は施設が対応。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を 把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全 で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援 している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的に外出している。個別に買い物に出 かけたり、花見等は合同で出かけ四季折々 の景色を楽しんでもらうようにしている。	個々の希望に沿った外出や年間通して外出 の計画を行っており、四季を感じてもらえる ような取り組みを行っている。		以前のように家族も一緒に外出でき るようになれば入居者様も喜ばれる。
21	かかりつけ医の受診支 援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係 を築きながら、適切な医療を受けられるように 支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	月に4回の訪問診療を受けていて、訪問診 療日以外の時も医師に相談しやすい環境が 整っている。医師より家族に病状説明が定 期的に行われている。歯科や耳鼻科等はこ れまでのかかりつけ医を受診。通院困難な 方は歯科の往診を受けている。			報告が遅い時があるので、早めに報 告して対応できるようにしていきたい。
22	入退院時の医療機関 との協働	利用者が入院した際、安心して治療できる ように、また、できるだけ早期に退院するよう に、病院関係者との情報交換や相談に努め ている。あるいは、そうした場合に備えて病院 関係者との関係づくりを行っている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	菊地病院入院時は医師や看護師に定期的 に状況を確認している。その他の病院の場 合は地域連携室の担当者に状態を定期的 に確認している。入院時には入院時情報提 供シートを3日以内に交付している。	菊地病院やそれ以外の病院とも入退院時 の連絡・調整は行えている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述 (具体的な実施状況など)	現状の課題や質の向上に向けて運営推進 会議で話しあった内容	外部評価	記述(新たな課題、改善点など)
23	重度化や終末期に向 けた方針の共有と支 援	重度化した場合や終末期のあり方について、 早い段階から本人・家族等と話し合いを行 い、事業所でできることを十分に説明しながら 方針を共有し、地域の関係者と共にチームで 支援に取り組んでいる	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	終末期に近づいてきた際は、早めに主治医や家族 と今後の方針について話が出てくる。看取りの説 明や事業所で出来る事を伝え了承を得ている。保 険者より看取りについてのアンケートの依頼があつた り、これまでの看取りについて報告会を2度行った。	看取り指針を設け、入居時に説明を行って おり、終末期が近づいた時に再度説明を行 い方針を共有できている。現在、看取りを 行っているGHIは当施設のみ。	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	
24	急変や事故発生時の 備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全て の職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的 に行い、実践力を身に付けている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	急変時の対応マニュアルは作成しており、分 かる場所に貼っている。初期対応の訓練は 定期的に行えてはいない。			急変時に慌てないで対応できるよう に定期的にシミュレーションを行って いきたい。
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問 わず利用者が避難できる方法を全職員が身 につけるとともに、地域との協力体制を築いて いる	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	自然災害等のマニュアル(BCPも含め)は作 成しており、避難訓練時に水害時の対応も 訓練している。大雨の際は川の水位を見な がら準備をしている。コロナ禍以降、地域の 消防団との合同訓練は行えていない。	今年度より研修と訓練を行っている。	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	地域の消防団等との合同訓練が行 えるようにしていきたい。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプ ライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライ バシーを損ねない言葉かけや対応をしている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	接遇の研修等を行い、言葉かけには十分注 意している。また、申し送り時に誰の情報を 共有しているか分からないように部屋番号を 用いて伝達している。		☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	
27	日々のその人らしい暮 らし	職員側の決まりや都合を優先するのではな く、一人ひとりの日常生活における希望や意 向、暮らしのペースを大切に、その日をどの ように過ごしたいか、希望にそって支援して いる	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	午前、午後とレクリエーションの声掛けを行い、体操や歌等のレ クを行っている。(30分程度)それ以外は本人の希望に沿って 居間で過ごしたり、部屋で過ごしてもらっている。遅くまでテレビ を観ている方もいれば、朝、まだ起きたくないと言われたら食事 の時間をずらして食べたいときに食べてもらっている。。			
28	食事を楽しむことの できる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの 好みや力を活かしながら、利用者と職員が一 緒に準備や食事、片付けをしている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	好き嫌いを把握し、個人にあつた形態で提 供している。誕生日は本人の食べたい物を 確認して提供している。時々、調理の手伝 いや片付けを一緒に行う。行事の時は材料の 切込み等をお願いする。	一緒に盛り付けや片付け、おやつ作りをして いる。嗜好に合わせたメニューや季節の行 事食を提供し、入居者様が楽しめる食事と なるよう努めている。	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	
29	栄養摂取や水分確保 の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を 通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や 力、習慣に応じた支援をしている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	管理栄養士による献立作成。食事量の チェック、10時・15時の水分補給を確実に 行っている。病気で水分制限がある方は1 日の水分量の指示内で飲んでもらっている。	現在、水分制限がある入居者様が1名おら れる。体重管理等を行い、定期的に主治医 より指導・助言を頂いている。		
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食 後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じ た口腔ケアをしている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	毎食後、口腔ケアを実施。舌ブラシ等を用 いて自分で行えない人は介助している。週2 回は義歯洗浄している。歯科医師や歯科衛 生士の方に助言を受けている。	口腔ケアや嚥下に関する研修を受講したり、 病院のSTIに相談している。	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述 (具体的な実施状況など)	現状の課題や質の向上に向けて運営推進 会議で話しあった内容	外部評価	記述(新たな課題、改善点など)
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	夜間はオムツを使用される方も可能な限り日中は紙パンツにバット、布パンツで過ごしてもらうようにしている。尿意の訴えがない方も定期的にトイレに座らせている。入院中にオムツを使用されていて戻ってこられた方もトイレ誘導し紙パンツで対応している。	日中はできるだけトイレで排泄ができるよう定期的に声掛け誘導している。二人で介助して移動させる入居者様もいる。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	立位移乗サポートロボットの導入を相談・検討してもらっている。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	週2回の入浴と決めているが、皮膚状態や本人の希望により入浴回数を増やすこともある、浴槽に浸かる時間は本人の希望に合わせている。同性介助を希望される方は入浴日の調整をしている。	入浴を嫌がられる入居者様に対しては上手いといった職員の声掛けを共有しながら入浴が出来るように取り組んでいる。		
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人が希望される時間に居室に誘導している。不眠の訴えがあるときは、話を傾聴したり、飲み物を渡したりしている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	看護師や薬剤師に確認している。薬の変更時は副作用等の情報を共有し、異常がある場合は主治医に報告している。	本人の状態の変化等について医療関係者に情報提供し、また職員間でも用法や副作用についての情報共有を行い服薬支援を行っている。また、薬剤師にも相談し助言をもらっている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人に希望を聞きながら買い物外出や散歩等を行っている。施設内でカラオケや、オンラインで水族館を視聴したり、調理レク等を定期的に行っている。	昨年度より外出支援を行っている。(買い物や本人の希望の場所へ)		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族の協力もあり、美容室に外出したり、法事に出席されたり、外泊を行った方もおられる。ご家族様との交流も少しずつ再開出来ている。	車椅子の方もリフト車や近所であれば押して外出している。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	数名は自分でお金を管理しているが、お金が無くなったと言われる方もいるため、なるべく施設で預かるようにしている。外出時に預かり金を渡すようにしている。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	携帯電話を持っている方は自分でかけられている。(6名)電話をしたいと希望されたときは施設の電話からかけている。年賀状や手紙を書かれる方もおられ、お手伝いしている。			

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述 (具体的な実施状況など)	現状の課題や質の向上に向けて運営推進 会議で話しあった内容	外部評価	記述(新たな課題、改善点など)
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ベッドの配置等は本人の身体機能に合わせて配置している。居間等の環境整備も季節にあわせて壁のレイアウトや歌の歌詞等を変更している。車椅子の移動が邪魔にならないように動線には物を置かないように配慮している。	壁の貼り絵等は季節のものを掲示し、ベッドの配置や動線も配慮されている。掃除や換気も行き届いており、明るく家庭的で居心地が良い空間となっている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	部屋に帰りたいと言われた場合は居室へ誘導している。食事やレクの時間まで過ごしたい場所でゆっくり過ごしてもらっている。散歩希望された場合も後回しにせず対応している。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外泊については帰設後、4日間部屋待機と制限はあるが、外出や面会等の制限は緩和されている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎朝、バイタル測定、入浴時には皮膚状態の観察、軟膏塗布や浮腫軽減の為の包帯巻き等、状態に合わせた対応は行えている。体調不良時はその都度、主治医に報告し指示をもらっている。	協力医療機関と連携を図りながらケアを行っている。 看護職の指導の下、介護職もケアにあたっている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	1日の基本的な時間の決まりはあるが、その日の状態により起床時間や食事時間等を本人のペースに合わせている。居室で食事を希望される方もおられ対応している。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自宅からテレビやダンス、お位牌を持ってきたりされている。持ち込みの制限はないが、居室に入る限度はある。	広さによる制限以外は在宅生活により近づくようななじみの物の持ち込み可としている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外泊や法事等で外出される方もおられる。食事を伴う外出に関しては帰設後、4日間は居室待機で健康観察している。買い物や散髪等での外出も少しずつ多くなっている。	外出時の会食や感染状況に応じて居室での待機期間を設けているが、理解してもらっている。今の所、外出や外泊後に感染症を発症した入居者様はいない。		その時の感染状況により制限を変更している。

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述 (具体的な実施状況など)	現状の課題や質の向上に向けて運営推進 会議で話しあった内容	外部評価	記述(新たな課題、改善点など)
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	作業を行う前には本人に出来るか確認して作業を依頼している。洗濯物干し・たたみ・包帯巻き・食器洗い等。			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者様同士、居室のベッドに腰かけて会話したりされている。難聴の方の場合は職員が間に入り会話の援助を行っている。歌や体操、レクを通して声を出してもらい、笑ってもらえるように心がけている。	入居者同士のコミュニケーションの機会を作るための支援が行われており、利用者の特技などを生かしながら自分の役割を得ることで生き生きと過ごせる関りが出来ている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々に関わったり、交流することができる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域の方々との交流は出来ていないが、しめ縄飾り作りを通して地域の方と繋がったり、散歩時に話をしたりする事もある。年1回しめ縄飾り作りの写真を地区の回覧板で回してもらっている。	入居者同士のコミュニケーションの機会を作るための支援が行われており、利用者の特技などを生かしながら自分の役割を得ることで生き生きと過ごせる関りが出来ている。		
49	総合	本人は、このGHIにすることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外泊に関しては制限があるが、行事への参加や面会、外出に関しては緩和しており、少しずつ以前の日常を取り戻せている。家族や友人との交流は増えており笑顔が多くなったと感じる。健康面でも、その都度主治医に相談し、助言をもらったり、診察してもらっているので安心して過ごされているのではないかと思います。	近くに病院があるので何かあるとすぐ診察していただけるので安心。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	流行等の実情に合わせたうえで、感染対策を行いながら地域や家族との交流を持ち。よりよい日々を送る支援が行われている。今後さらに地域との交流の機会が増え地域に根差したグループホームとなるよう期待したい。